

# 眩川

発行 眩川村役場  
1958.3.20  
編集 眩川村教育委員会

## 眩川村消防団

### 出初式挙行

本年度眩川村消防団の出初式は三月十日午前九時より、中野小学校々庭において挙行、知事代理を始め大洲警察署長、財務事務所長、村内議会議員外有志参列、団旗、分団旗の授與について団員三三七名の姿勢、服装の点検、各種操法、部隊訓練、一斉放水、分列等勇壮活潑なる出活動を終つて表彰式に移り、本団の規律厳正と施設充実による知事表彰に引続き、知事、消防協会長、郡連合会長、警察署長の個人表彰を受けて午後一時三十分本村発足以來曾てない盛会なる出初式を終了した。

- 愛媛県知事表彰  
 ◎施設充実 眩川村消防団  
 ◎功労章 第一分団長富永哲夫 愛媛県消防協会長表彰  
 ◎勤続章  
 第四分団長大野 義方  
 第三分団第一部長周原 春馬  
 第三分団第二部長岩田 植太郎  
 第五分団班長 山下 康見  
 第一分団消防員 竹本 武重  
 第三分団消防員 兵頭 茂秋

### 規程章

- 第一分団消防員 富永 富夫  
 郡連合会長表彰  
 第一分団班長 橋本 穂  
 第一分団消防員 北本 登  
 第二分団班長 寺尾 十七八  
 第四分団消防員 山本 清  
 第四分団消防員 石川 常義  
 第一分団消防員 白尾 清  
 第二分団消防員 大野 義久  
 第五分団消防員 藤川 伊佐男  
 大洲警察署長感謝状  
 予子林 子供クラブ  
 眩川村長感謝状  
 山鳥坂 久岡京子 稲田トメ  
 森本キミ子 帽子栄  
 久岡春子  
 眩川村消防団後援会第二分団  
 中津班  
 團長感謝状  
 第二分団消防員 西宮 実

### 電話開通

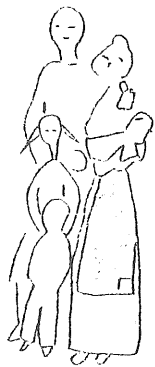
中津部落電話架設は多年要望中であつたが二月二十四日開通した。七九一  
 鹿野川十番 中津小学校  
 七九三〇番宮岡正重宅 (近日架設)  
 下嵯峨谷部落電話 (三月十五日頃完成)  
 七九五一番 藤高敏治宅

### 固定資産課税 台帳縦覧

昭和三十三年固定資産課税台帳を左記により縦覧に供します。資産評価格は特別の移動がない限り昨年価格の据置となつています。尚今年度より向う三年間評価格は特別事情がない限り評価替はありませぬ。  
 縦覧期間 三月十日より三月末日まで(毎日午前八時三〇分より午後五時まで)  
 場所 眩川村役場

### 村民税の申告を早く

昭和三十三年中の所得申告を三月三十一日迄に提出して下さい。申告用紙及び所得の標準については、部落長さんに一括お願いして下さいますから期限内に申告をお願いします。



### 住民登録の届出を 励行しましょう!

住民登録という制度は皆さんもすでに御承知のとおり市町村の住民たる資格をもつて居る者を住民票に載せて明確にしておくためのものであります。この住民票によつて私達の住所がはつきりわかりますので、選挙や入学やお米の配給や不動産登記に必要な謄抄本、又居住証明等といたる行政上のサービスを受けることが出来ます。ですからこの届出をしないと私達の住民としての利便を受けられない結果ともなりまされ、又五百円以下の過料に処せられることがありますから注意しなければなりません。

届出を必要とする場合  
 1 転入したとき  
 2 引越をしたとき  
 3 世帯主が変わつたとき  
 以上は必ず十四日以内に届出をしなければなりません。  
 子供が生まれたり又死亡した者があつて世帯員が増減した場合に別住民登録の届はしなくてもよいことになつて居ります。尚出生、死亡届に於ける場合は、健康保険の受診証を御持参下さい。

### 本日の出来ごと

二月一三日	遺族並に引揚者相談
一四日	開設 県世話課長郡遺族会長来村
一四日	大洲農林事務所長石丸林道視察
一五日	家族計画推進指導協談会を開く
二〇日	村常会開催
二〇日	予子林において赤痢患者発生
二〇日	鹿野川観光土産品小売組合設立
二二日	大洲高等学校眩川分

### 自衛官募集

昭和三十三年度第一次陸上・海上・航空の自衛官を募集中であります。希望者は役場厚生係に相談の上応募して下さい。志願用紙は村役場にありませぬ。  
 受付 三月一日より 四月十五日まで  
 資格 十八才以上二十五才未満の中学卒業程度の学力のある男子  
 待遇 初任給 約六二〇〇円  
 衣食住無料支給  
 (実質賃金 約一二〇〇〇円)

- 二三日 校文化祭
- 二三日 下大和赤痢患者発生
- 二四日 中学校総合研究委員会を開く
- 二五日 中津分校電話開通
- 二五日 より家族計画講習会地区別に開始
- 二七日 隔離病舎修繕調査のため県予防課員米村農業委員会を開く
- 二八日 西山県議水没補償関係米村
- 二八日 村議会総務委員会を開く
- 三月一日 第一期青年建設班終了式挙行
- 二日 具来村
- 四日より六日まで所得申告指導
- 七日 国保運営協議会開催
- 八日 共済組合振興対策協議会を開く
- 十日 消防団出初式

### 引揚者給付金の申請

昭和三十三年年度に引揚者給付金等支給法が施行になつております。昭和二十年八月十五日まで引続き六月以上本邦以外の地域に生活の本拠を有していた者が該当者です。本村では第一回の申請をされた方は給付金支給の認定通知がありました。村内には現在未請求者が四〇件位ありと見込んで居ります。該当者は村厚生係へ相談せられて、速に請求の手続をとつて下さい。用紙は村役場にありませうから利用して下さい。

### 行事予定

村の厚生係(衛生担当)で実施します。乳児検診、予防接種等につき左記予定表の通り計画しておりますので御承知の上、該当者もれなく受検診、接種せられるよう御願いたします。尚これは三月、四月分であり

### 予定表

三月二十四日(二十七日) 百日咳予注第一回  
 該当者 初回免疫  
 昭三一、一二、一日(昭三二、一一、三〇)日間の出生者  
 昨年の該当者で注射を受けなかつたもの  
 追加免疫 昨年三回接種済みの者  
 四月七日(十二日) 百日咳第二回、乳児検診  
 乳児検診該当者 昨年中の出生者

### 四月二日(二十六日) 百日咳第三回

陽・パラチフス予注第一回  
 陽・パラチフス予注第二回  
 四月二日(二十六日) 陽・パラチフス予注第一回  
 陽・パラチフス予注第二回  
 陽・パラチフス予注第一回  
 陽・パラチフス予注第二回

### 家族計画について

肱川村は昭和三十三年年度に於て家族計画指定村となりました。昭和三十三年度事業として家族計画講習会及個人指導の実施については、三月上旬第一回を村内九地区に分けて行いましたが、第二回八月中に第三回十二月中に実施する予定でありますから、第一回同様多数の協力を願います。本村は厚生省の指定村となつておる関係で必要とする器具薬品については、価格が安価で配布できますから保健婦に相談して下さい。家族計画については保健婦が相談に何時でも応じますから申出下さい。人の秘密に關することについては一切もらさぬことにつめておりますので安心して御相談下さい。

### 愛媛県サービス店運動の推進について

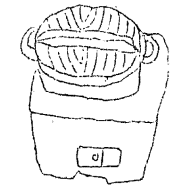
サービス店運動は商業対策の一環として販売方法の公正化、消費者の保護、良心的な販売業者の育成ならびに商業経営の合理化をはかり、産業の振興に資することを主眼として発足いたしました。通商産業省が本運動の商品を指定したもののうち、まずラジオについて選定をいたしてまいりました。

### 農事メモ

現在県下に六十六店の選定店がありますが、県が選定したこのラジオサービス店は検定に合格したラジオ受信器修理技術者が常時修理業務に従事し、一定の規格にあつた店であり、需用者が安心して利用できるラジオオ店であります。

1 短棚の区切り  
 2 苗代予地に播種(二) 三日前に水を入れて代播しよくならして後水を落して土がヨウカン程度の固さになるのを待つ  
 3 床面を四尺二寸溝を八寸に区割し繩を引き録で切り深さを三寸程度に溝土を床面に揚げる。  
 4 床面ならし  
 5 荒くだきが出来ると溝へ水を引き床面へ充分水をかけ八反摺でならす仕上げは四尺五寸程度の長さ七分板できれいにならす  
 6 肥料まき  
 7 化学肥料が主体となつていてと中央部が多肥になるおそれがあるから注意する  
 8 種まき  
 9 坪当二(三合播にする(一尺角に三百粒程度)  
 10 覆土  
 11 種子がかくれる程度坪当り約一斗  
 12 焼もみからかけ  
 13 土がみえない程度坪当八升(一斗を平均に散布する  
 14 油紙かけ

### 林業通信



種菌の植え付けはほとんど終了したと思ひます。菌のだんだん伸びる気温はC二二度(二六度)であるので植え付けは一日も早く終つて下さい。植え付けで特に気を付ける事は  
 1 種菌の入つて居るビンは割つて成丈塊のままかぎながら指先で軽く入るギユウギユウに押し込んではいけません  
 2 フタは昨秋伐つた分良く乾燥して居る皮を植え付けの前日から前夜皮取器で採つておく。皮の厚みは一分五厘(二分)が良い  
 3 最近組合に委託して居られる品に依ると大きな茸であり乍ら取方がおかれて充沢の悪いものが多い様です。椎茸は下の幕のある間は重量が増えているが幕が切れると同時にその目方は増さなくなり只形が大きくなる丈で雨にでも合うと水分を含んで一見重くなつた様に

### 木材県森連市売の相場

長さ	柱寸	スギ	ヒノキ	マツ	其ノ他
一三、二尺	三〇下	三四一〇	三四五〇	二二、八〇	一一、〇〇
	三五上	三二〇〇	三二五〇	二二、八〇	一一、〇〇
	六〇上	三一、三〇	三四一〇	二四、一〇	
	八〇上	三二、五〇	三九〇〇	二五、〇〇	一五、〇〇
	一〇〇上	三七〇〇	三九五〇		
	三〇下	二八八三	二九五〇		
	三五上	二九五〇	三八五〇		
	六〇上	三二五〇			
	三〇下	一一、二〇	一六、〇〇		
	三五上	一五、八〇	二四、五〇		
	六〇上	二四、五〇	三二、〇〇		
	三〇下	一一、二五〇	一三、〇〇		
	三五上				

乾燥に於ても採取の時季が大切で冬は幕の切れた直後、香信は八〇%開いた時を一番良い取り時季としている。そうする事が光沢の良い品となり乾燥も容易である。  
 最近ドラム確利用の乾燥場が建つて居るが此の利点としては経費 少なく建てられる  
 収容量 一回十四貫位  
 燃料 まきを利用して乾燥出 来る一回十二貫位  
 時間日和孩子で十五、六時間 雨子で二二、三時間出 米上る  
 乾燥場は補山ムロとして必要である。  
 仕上りも熱風乾燥と変わらない光沢を有している  
 尚ドラム確利用乾燥場の青写真の写が組合に準備してありますので御利用下さい。  
 学校も四月から新しい発足をしますが、四月を迎えたと何か希望のようなものを持ちはじめます。しかし、陽気がよいと言つても希望を温く包んでくれぬ世相でもあり現実の世界は苦勞が多いそうかと云つてくちけてもおれない、木や草に負けず、一そう生き生きとした希望をもつて、活気のある努力を惜しんでほならない三月と言えは年末にも似た感じでも忙しい日を送るが、四月は又正月にも似た気持で、氣持を新らしくして臨みたいと思ふ。

あつた